

## 北海道胆振東部地震に関する各市の物的支援状況等

2018.9.10時点

支援元	支援先	対応月日	支援内容	移送手段	備考	
社会資本整備を考 える首長の会東北ブロッ ク	北海道庁	9月8日	①飲料水:6.7トン(予定) 【内訳】 相馬市…2ℓ入り1,296本(216箱) 南相馬市…500mℓ入り3,744本(156箱) 伊達市…2ℓ入り240本(40箱)・500mℓ入り:3,000本(125箱) 新庄市…1.5ℓ入り:48本(6箱)、500mℓ入り:432本(18箱)  ②災害用白米:750食(予定) 【内訳】 新庄市…50食入り:15箱。	8時宮古市発、18時室蘭市着の宮蘭フェリーで支援物資を輸送	本支援は「社会資本整備を考える首長の会東北ブロック」で災害時の有効な輸送手段となっている「宮蘭フェリー」を利用して宮古港から支援物資を送るもの。物資については、北海道庁より被災自治体へ配布される予定	
岩手県	宮古市	室蘭市	9月7日	非常用白米2,000食、水360ℓ、缶詰1,080個、発電機7台、カセットコンロ用ガスボンベ100本、ランタン10個	危機管理監及び職員1名が室蘭市より要請があった支援物資を届けるため、パネルトラック1台で出発。8時宮古市発18時室蘭市着の宮蘭フェリーで移動	
宮城県	白石市	登別市	9月6日	飲料水(500mlペットボトル)2,700本、アルファ米2,500食、毛布150枚、ガソリン用携行缶30個	職員2名がパネルトラックで出発。秋田港からフェリーでの移動を経て、9月7日、登別市役所に届ける	姉妹都市である登別市・神奈川県海老名市・白石市の3市が平成22年に締結した「危機発生時における相互応援に関する協定(トライアングル相互協定)」に基づき実施